

総務省承認 No.
承認期限 平成 年 月 日まで

平成 13 年 度



林家経済調査
調査原簿

林家番号	
林家氏名	
出張所名	
調査林家となった年月	昭和 年 月 平成

農 林 水 産 省

目

次

I 世帯員及び林業労働力	1
1 家族及び年雇	1
2 林業の定期雇い（年間延べ60日以上林業に雇った者）	1
3 自家林業の請負わせ量	1
II 保有山林面積（土地）及び林木資産の年度内異動	3
III 償却資産	4
1 林業用建築物及び林業用構築物	4
2 林業用機械類	6
IV 流動資産・その他	8
1 未処分林産物	8
2 林業用資材	8

3 売掛未収入金及び買掛未払金	9
4 林業用借入金	9
5 林業関係租税公課諸負担	10
6 年度末聞き取り事項	10
7 貸付山林面積	10
8 2000年世界農林業センサス保有山林面積	10
9 経営耕地面積	10
10 家族労賃単価	10
11 自給用苗木評価額	10
12 苗畑面積・評価額	10
V 林小班編成表	11

I 世帯員及び林業労働力

1 家族及び年雇

家族・年雇	性別	氏名	経営主との統柄	年齢	年度内に○印 増加した人に	年度内に○印 減少した人に	年度末に○印 いたる人に	自家の林業従事日数	業態区分 (○印)			他れた日数 他家の林業に雇わ	
									年間60日以上 の者				
									林業が 主	農業が 主	その他		
家	男											日	
													日
	女												日
													日
年雇	住込												
	通い												

2 林業の定期雇い (年間延べ60日以上林業に雇った者)

区分	男	女	計
延べ60日～149日	人	人	人
延べ150日以上			

3 自家林業の請負わせ量

単位：人日

区分	地ごしらえ	植付け	下刈り	枝打ち	伐採	搬出	その他
森林組合							
造林請負業者							
素材生産業者							
その他							

(記入注意)

- 「家族欄」には、出稼ぎ者(12カ月未満)、入院療養、遊学などで年度始めに不在の者でも常住家族として記入する。
- 「年雇」欄には、林業に従事していない農業等の年雇は含めない。
- 「経営主との統柄」欄には、戸籍上の統柄にかかわらず、林業の実質的な経営主との統柄を記入する。
- 「年度内異動」欄は、出生、帰郷、就職、転職の場合に記入し、一年未満の出稼ぎ等による異動は記入しない。
- 「自家の林業従事日数」欄には、1カ年間の林業自家労働に企画管理労働の日数も合わせて記入する。
- 「業態区分」欄は、年度末不在の者について聞き取り記入する。なお、他家の林業に雇われた者(共有林への出役)も含む。

(電算入力整理表)

単位：人

	家 族 男				家 族 女				年 雇	
	19歳以下	20～34	35～59	60歳以上	19歳以下	20～34	35～59	60歳以上	住込み	通い
年度始め人員										
年度内動	増 加									
	減 少									
林業従事日数別	1～29日									
	30～59									
	60～149									
	150日以上									
業態別人員	林業が主									
	農業が主									
	その他が主									
	非就業(60日未満)									

Ⅱ 保有山林面積（土地）及び林木資産の年度内異動

月日	異動の事由	増加・減少 区分	相手	林小班名 (番号)	林種 区分 (コード)	増減 コード	法定評価額	林地の購入・ 売却金額	評価標準地域 及び樹種コード		非評価 ・評価 コード	面積	備 考
									地域 コード	樹種 コード			
		増・減					円	円			1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		
		増・減									1・2		

(記入注意)

- 1) 「異動の事由」欄は、購入、売却、借入、転用、返還などの理由を記入し、「相手」欄には、その取引先を記入する。
- 2) 「林小班名」欄は、異動のあった林小班名(番号)を記入する。
- 3) 「林種区分」、「増減コード」欄は、コード表に従って記入する。

- 4) 「法定評価額」欄は、売却土地の法定評価額を記入し、「林地の購入・売却金額」欄は、実際の土地に取引価額を記入する。
- 5) 「評価標準地域及び樹種コード」欄以降から「面積」までは林木の異動のみの記入である。
- 6) 「面積」欄は林小班に異動のあった場合に記入し、造林の場合は必要ない。

Ⅲ 償却資産

1 林業用建築物及び林業用構築物

No.	種 類	構 造	建築面積 (数値)	取得価額 (調査価額)	建築年度 (購入)	耐用年数		二下	年 度 内 異 動						合 計 数量割合	年度末 現在価
						経過 年数	将来 年数		年 度 始 末		年 度 内 異 動		合 計			
									現在価 ①	増加額 ②	減少額 ③	償却額 ④	償 額 ⑤	処分差 損失 ⑥		
			㎡	円	年	円	年	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

(記入注意) 1 「林業用構築物」は、林業専用または、林業とその他の用に兼用されている建物について一棟ごとに林家から聞き取って記入する。
 2 「種類」及び「構造」欄は、「農畜産業用固定資産評価標準」の建物資産評価標準表に示す種類・構造区分により記入する。なお、償却資産の下限規定を「おおむね10万円」とする。
 3 「建築面積」欄で、2階建ての場合は延べ面積を記入する。
 4 「取得価額」欄は、林家経済調査の手引き22頁「3 償却資産」を参照。
 5 「建築年度」欄で、建築年度が不明の場合は、林家から将来耐用年数を聞き取り逆算して記入する。
 6 「残存価額」欄で、構築物の残存割合は10%となっているが、自動車道、車道、簡易林道についてはりとする。
 7 「耐用年数」欄で、林業用構築物は、新設年度以降に大修繕が行われても耐用年数の延長は行わない。
 8 「増加額」欄には、新築、改築、増築の費用、「減少額」欄には、売却・廃棄、災害、資産分割等の異動があった場合に記入する。
 9 「処分差損失」欄は、償却資産を売却又は廃棄処分した場合、処分差利益の場合は負、処分差損失は正で記入する。
 10 「負担数値」欄は、実際に林業用として利用した数値を記入する。
 11 「年度末現在価」欄は、調査原簿リストNo.2入力全数リストより転記し、次年度の「年度始め現在価」とする。
 12 網目欄は入力項目である。
 13 入力の際は、「売却価額」の欄がないため、「減少額」欄に売却価額を含んだ数字を入力する。

No.	林業負担割合 ⑤	負担数量 ⑥	林業負担額					年度末 現在価 ⑦×④
			年度始め	年度内異動				
			現在価 ①×⑥	増加額 ②×⑥	減少額 ③×⑥	減価償却額 ④×⑥	処分差損失 ⑤×⑥	
%	m ²	円	円	円	円	円	円	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

(記入注意)

- 「林業負担額」欄はそれぞれの該当欄に、「林業負担割合」を乗じて算出する。
- 「林業負担額」欄はシステムで自動計算されるので記入の必要はない。

(コード表)

区分	コード	負担数量
建物	納屋	100 m ²
	倉庫	101 m ²
	山小屋	102 m ²
	その他	103 -
構	車庫	104 m ²
	車道	105 m
	炭がま	106 基
築物	しいたけ温室	107 m ²
	しいたけ浸水槽	108 m ²
	しいたけ乾燥室	109 m ²
	その他	110 -

資産の計算方法

残存価額 = 購入価額 × 残存割合 (%)

経過年数 = 調査年度 - (購入年度 + 1年)

将来年数 = 耐用年数 - 経過年数

年度始め現在価 = 取得価額 - 減価償却費 × 経過年数

減価償却費 = (取得価格 - 残存価額) ÷ 耐用年数

処分差損失 = 年度始め現在価 + 増加額 - 減価償却費 - 処分(売却)価額

負担数量 = 建築面積 × 林業負担割合 (%)

2 林業用機械類（企画管理用機器を命ず）

行	種	型	数	買	入	価	耐用年数		年	年 度 内 異 動					自	担	年	度	末					
							初	終		年	年	年	年	売却又は廃棄						数	額	合		
														現									増	減
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年						
				合	円	年	日	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年					
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								

- (記入注意) 1 企画管理労働と不離一体の関係にあるパソコン等の償却資産についても記入する。
 2 コード番号(121)の「その他」は、林業用機械及び林業用自動車のうち、コード番号 111～120以外のものを記入する。
 3 生産管理機器については、システム上でファクシミリ、複写機、ワープロ及びパソコン等の4種類の耐用年数を設定しているが、取得価額が10万円以上のパソコン等の周辺機器、ソフトやその他の機器については「パソコン等」として取り扱う。
 4 網目のかかっている部分を入力する。
 5 入力の際は、「売却価額」の欄がないため、「減少額」欄に売却価額を含んだ数字を入力する。

No.	林業負担割合 ⑤	負担数量 ⑥	林業負担額					年度末 現在価 ⑦×⑥
			年度始め 現在価 ①×⑥	年度内異動				
				増加額 ②×⑥	減少額 ③×⑥	減価償却額 ④×⑥	処分差損失 ⑤×⑥	
	%	台	円	円	円	円	円	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

(記入注意) 1 「林業負担額」欄はそれぞれの該当欄に、「林業負担割合」を乗じて算出する。
2 「林業負担額」欄はシステムで自動計算されるので記入の必要はない。

(コード表)

区 分		コード	負担数量
機 械 類	チェーンソー	111	台
	刈払機	112	台
	目立機	113	台
	集材機	114	台
	滑車搬器類(集材機用)	115	台
	滑車搬器類(架線用)	116	台
	林内運材車	117	台
	しいたけ乾燥機	118	台
	しいたけ原木穿孔機	119	台
	林業用自動車	120	台
その他	121	-	
企 画 管 理 用 機 器	ファクシミリ	123	台
	複写機	124	台
	ワープロ	125	台
	パソコン	126	台
建物、構築物、機械以外の その他		122	-

償却資産の計算方法

残存価額 = 購入価額×残存割合(%)

経過年数 = 調査年度-(購入年度+1年)

将来年数 = 耐用年数-経過年数

年度始め現在価 = 取得価額-減価償却費×経過年数

減価償却費 = (取得価格-残存価額)÷耐用年数

処分差損失 = 年度始め現在価+増加額-減価償却費-処分(売却)価額

負担数量 = 数量×林業負担割合(%)

IV 流動資産・その他

1 未処分林産物

部門名	品名	年度始め在 High			林産物の在庫増加額 ②-①	年度末残高		
		数量	単価	評価額①		数量	単価	評価額②
素材生産				円			円	
				円			円	
				円			円	
薪炭生産								
きのこ生産								
その他林産								

2 林業用資材

部門名	品名	年度始め在 High			資材の在庫減少額 ①-②	年度末残高		
		数量	単価	評価額①		数量	単価	評価額②
種苗費				円			円	
				円			円	
				円			円	
原木費								
肥料費								
薬剤費								
諸材料費								

(電算入力整理表)

単位：円

区分	コード	年度始め現在価 (年度始め在 High)	年度内異動		年度末残高
			増加額	減少額	
素材生産	200				
薪炭生産	201				
きのこ生産	202				
その他林産	203				

(記入注意) この表は、年度始め及び年度末における林産物の在庫量を林家から聞き取りによって記入する。

(1) 「評価額」欄は、「数量」に「単価」を乗じて記入する。

(2) 「林産物の在庫増加額」欄で、「②-①」が負のときは△印を付ける。

(3) (電算入力整理表)で(2)の数値がプラスの場合は、「増加額」欄へ、マイナス(△印)の場合は「減少額」欄へ記入する。

(電算入力整理表)

単位：円

区分	コード	年度始め現在価 (年度始め在 High)	年度内異動		年度末残高
			増加額	減少額	
種苗費	300				
原木費	301				
肥料費	302				
薬剤費	303				
諸材料費	304				

(1) 「資材の在庫減少額」欄で、「①-②」が負のときは△印を付ける。

(2) (電算入力整理表)で(1)の数値がプラスの場合は、「減少額」欄へ、マイナス(△印)の場合は「増加額」欄へ記入する。

5 林業関係租税公課諸負担

区分	賦課 月日	賦課総額	負担額		区分	賦課 月日	賦課総額	負担額		区分	賦課 月日	賦課総額	負担額	
			負担割合	金額				負担割合	金額				負担割合	金額
林業支出負担部分	消費税 国 税			円	自動車重量税 国 税				円	不動産取得税 都道府県税				円
	自動車税 都道府県税				自動車取得税 都道府県税					固定資産税 市町村税				
	軽自動車税 市町村税				森林組合費 公課諸負担					林業団体費 公課諸負担				
	その他 公課諸負担													
それ以外	山林所得税 国 税				相続税・贈与税 国 税					事業税 都道府県税				

(記入注意)
この表は、調査期間内に賦課された林家の林業関係の租税公課諸負担額を記入する。林業経営を維持・継続するために支払わなければならない物件税及び公課諸負担とそれ以外のものとに区分して記入する。

6 年度末間取り事項

区分	林家の所得構成								林業所得の家計費充足率				造林補助金
	合計	林業	農業	木材関係の製造業・商業	その他自営業	役職勤務	賃労働	その他	20%未満	20~40%	40~60%	60%以上	
構成比	%	%	%	%	%	%	%	%	1	2	3	4	円
	100.0												

(記入注意)
造林補助金には、植林以外の下刈り、樹木起こし、除伐、保育間伐に支払われる補助金も含める。

7 貸付山林面積

字・番地	面積	貸付形態	受取地代
	a		円
計			

8 2000年世界農林業センサス保有山林面積

a

9 経営耕地面積 (年度始め)

a

10 家族労賃単価 (1日当たり)

男	女
円	円

11 自給用苗木評価額

円

(注意)
システム画面には単価で入力すること。

12 苗木面積・評価額

年度始め		年度内増加		年度内減少		年度末
面積	評価額	購入	その他	販売	その他	評価額
a	円	円	円	円	円	円

総務省承認 No.

承認期限 平成 年 月 日まで

秘

農林水産省

平成13年度 林家経済調査

林業日誌



この日誌に書かれた内容は、統計を作成する目的だけに使用し、他に漏らしたり課税等の資料には絶対にいたしませんので、ありのままをご記入ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

農林水産省

月分		1. 林業の収支				※	
日付	摘 要	コード	数 量	現 金		掛 取 引	
				収 入	支 出	未 収 入 金	未 払 金
				円	円	円	円

2. 林産物の林業外仕向け（「林業以外の自営業」「家計消費」「林木以外の資産造成」）

日	摘 要	数 量	単 価	コード	評 価 額

(メモ欄)

月分

3. 林業の作業

日付	作業名	作業した 林小班名	樹種名	林齢	家族			雇用		使用した動力機械		使用した資材		該当 面積	造林地種 コード
					世帯主			男	女	機械名	時間	品名	数量		
					日	日	日	人日	人日		時間				

注：自家生産した苗木を使用した場合には使用した資材の数量を（ ）で記入してください。